

安全・適正就業委員会だより

R 8 , 8
第 19 号

梅雨明け後は、急な高温と強い日差しに高湿度が加わり、大変暑い環境の中で作業に従事していただき、お疲れ様でした～ありがとうございます。

今後も熱中症対策を十分に行っていただき、無理のない就業をお願いします。
(自分の体は自分で守りましょう!)

また、つまずきによる転倒事故が発生しています。足元には気を付けて「焦らず」行動をしましょう！

令和8年度(7/31時点) 木津川市シルバー人材センター事故内容

現在、事故は傷害事故が2件、物損事故が1件となっていますが、安全対策をしっかりと取っていただいたおかげで、大きな物損事故は**ありませんでした**。

事故の詳細内容は下の表にありますが、**使い慣れた道具での傷害や、歩き慣れた道の低い段差での転倒などがありました**。

令和8年度事故報告(7月31日)								
	日付	地区	作業内容	場所	内容	SC修理	保険	交通事故
1	5月19日	木津	児童見守り	城山台小学校前歩道	傷害	横断歩道で児童を誘導中に、後ろ向きに歩いて歩道にもどった際に点字ブロックにつまずいて転倒し、大腿骨を骨折する。		治療中
2	6月1日	木津	除草	相楽台小学校	傷害	低木剪定中に、本人が右手に持っていた電動バリカンが左手に接触して中指、薬指に切創を負う。		治療中
3	6月15日	木津	除草	上人ヶ平遺跡公園	物損	作業を終え、車両を後退させていた際、周囲の確認が不十分であったため、車両左側のサイドミラーを支柱に接触させ、破損させた。支柱には損傷やキズは確認されず、サイドミラーのみが破損した。	8,030	



< 令和8年度 安全・適正就業に関する標語 >

京都府シルバー人材センター連合会の安全・適正就業委員会において、窪田正人さんの作品が「優秀賞」に選ばれました。

木津川市初！！優秀賞 窪田 正人
「まあいいか」その判断が 事故を呼ぶ



熱中症からカラダを守る！ 準備万端で熱中症ゼロへ



空調服だけではつらい時も

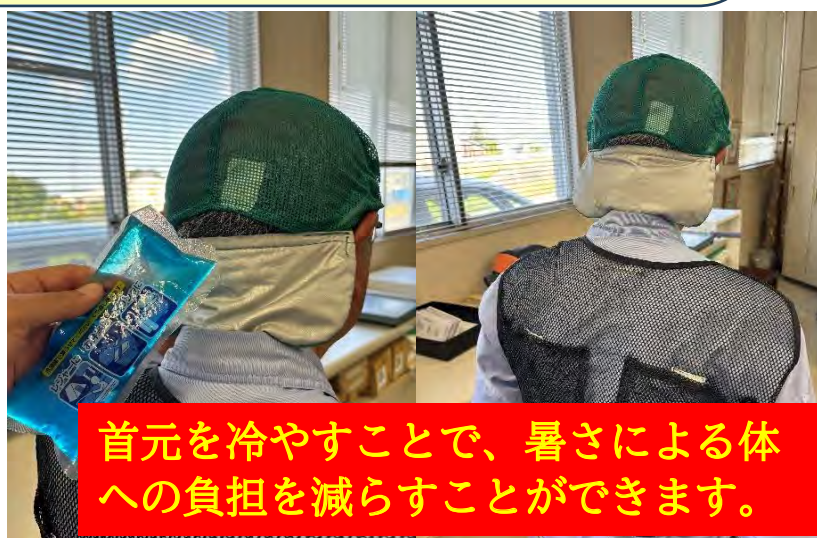
☀ 夏の除草作業は「暑さ対策」を忘れずに！

夏場の除草作業は、気温が高く、熱中症になる危険性が高まります。安全に作業するために、「体を冷やす」「こまめに休む」「水分をとる」ことを心がけましょう。

🏠 空調服＋保冷剤で体を冷やす

空調服を着るだけでなく、空調服の中に保冷剤を入れたベストを着用することで、体をより効率的に冷やすことができます。

空調服の風と保冷剤を組み合わせ、暑さ対策を行いましょう。



首元を冷やすことで、暑さによる体への負担を減らすことができます。

💧 水分・塩分をこまめに補給「喉が渴いてから」ではなく、喉が渴く前にこまめに水分をとるようにしましょう。汗をたくさんかく場合は、水分だけでなく塩分も補給しましょう。

🚫 無理をせず、こまめに休憩 暑い中で長時間作業を続けることは危険です。

日陰や涼しい場所でこまめに休憩し、体を冷やしましょう。「もう少しだけ」と無理をしないことが大切です。暑い日の除草作業は「安全第一」

「冷やす・休む・水分をとる」この3つを意識して、無理のない作業を心がけましょう。

熱中症の疑いがある場合は、本人に自覚症状がない、または大丈夫との申し出があってもためらわず、速やかにセンターへ連絡し、手順に応じて救急要請を行ってください。判断に迷った時は【救急安心センター事業『#7119』】に相談を！

特に緊急時に発見が遅れる危険性のある仲間が見えない一人作業はできるだけ避け、休憩時間を含め一人にしない等の対策が重要ですので、協力してこの暑い夏を乗り切りましょう！！

令和8年度安全スローガン

その行動 危険を生み出す 分岐点

高岡 俊信